

第4章 統計区別産業

1 事業所数及び従業者数

事業所数は、中央区の1001統計区（中央地区）及び中央区の1002統計区（本府地区）でそれぞれ4千事業所を超える（第4-1表、第4-1図）

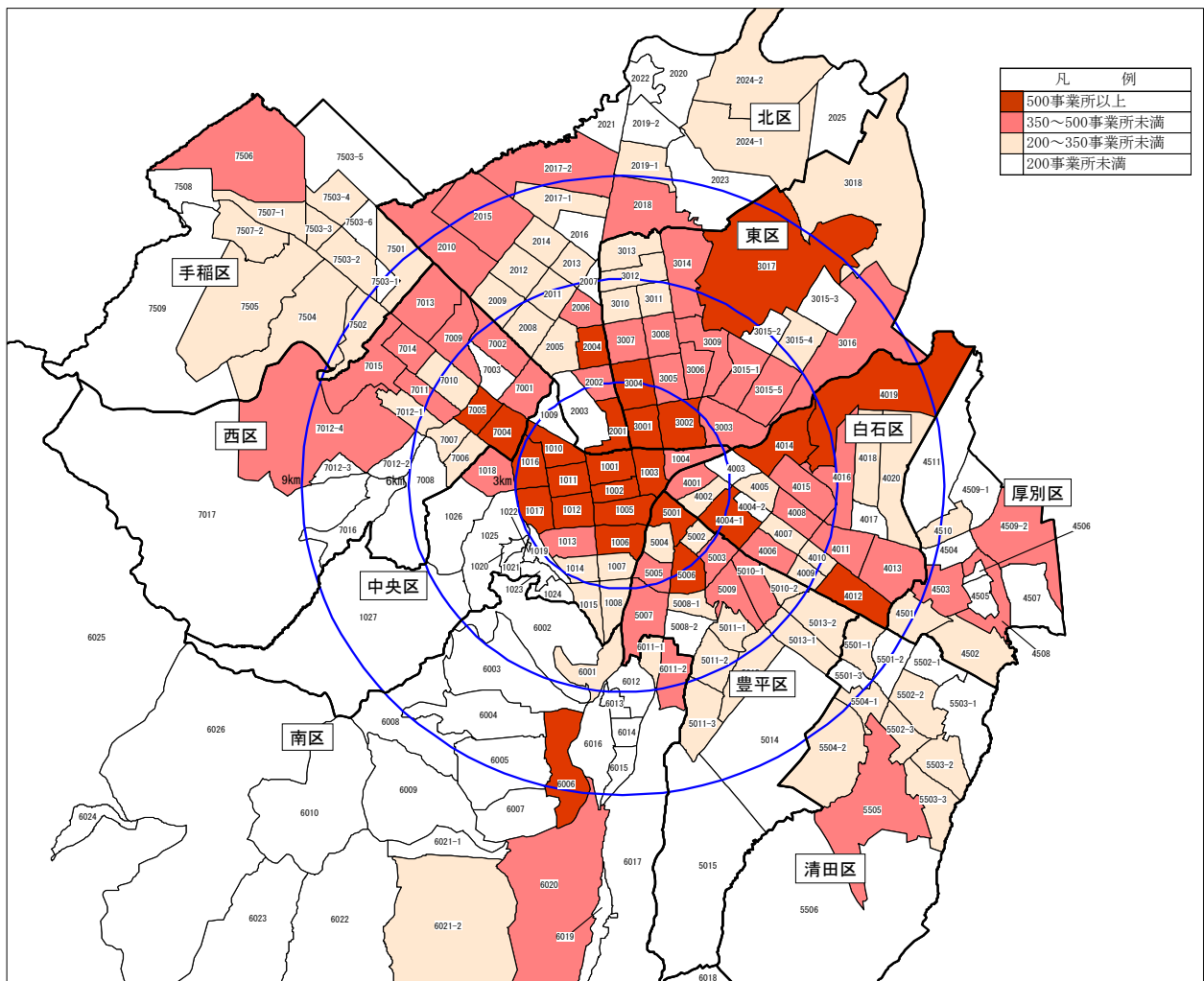
本章では、令和3年6月1日現在で実施された「経済センサスー活動調査」の結果から、札幌市の民営及び国、地方公共団体の事業所数及び従業者数に注目する。

札幌市の事業所数は73,576事業所となっており、事業所数が1,000事業所以上の統計区は7統計区、500～1,000事業所未満の統計区は18統計区、250～500事業所未満の統計区は86統計区、250事業所未満の統計区は95統計区（事業所数が皆無の3統計区を含む。）となっている。

統計区別に事業所数をみると、中央区の1001統計区（中央地区）が4,633事業所で最も多く、以下、中央区の1002統計区（本府地区）が4,365事業所、中央区の1005統計区（豊水地区、西創成地区）が2,587事業所などと続いている。

事業所数が1千を超える7つの統計区は、いずれも都心から3km未満の地域にあり、その内、中央区の

第4-1図 統計区別事業所数（令和3年6月1日現在）



注： 事業所数が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「経済センサスー活動調査」

1001 統計区(中央地区)及び中央区1002 統計区(本府地区)ではそれぞれ4千 事業所を超えている。

従業者数は、都心から3km 未満や地下鉄沿線の統計区が多い(第4-2表、第4-2図)

次に、札幌市の従業者数は930,326人となっており、従業者数が10,000人以上の統計区は12統計区、5,000~10,000人未満の統計区は34統計区、2,500~5,000人未満の統計区は64統計区、2,500人未満の統計区は96統計区(事業所数が皆無の3統計区を含む。)となっている。

統計区別に従業者数をみると、中央区の1001統計区(中央地区)が117,038人と10万人を超えて最も多く、以下、中央区の1002統計区(本府地区)が51,579人、北区の2001統計区(鉄西地区、幌北地区)が42,224人などと続いている。

従業者数は、都心から3km 未満や地下鉄沿線の統計区が多い傾向がみられる。

第4-1表 事業所数の多い統計区

令和3年6月1日現在

順位	統計区番号及び主な地区・町名	事業所数
1	1001 中) 中央地区	4,633
2	1002 中) 本府地区	4,365
3	1005 中) 豊水地区、西創成地区	2,587
4	2001 北) 鉄西地区、幌北地区	1,947
5	1011 中) 大通地区、桑園地区	1,703
6	1003 中) 東北地区、東地区	1,659
7	1017 中) 南円山地区、円山地区	1,068
8	7005 西) 琴似	954
9	4004-1 白) 東札幌、中央	889
10	1012 中) 大通地区、西地区	839
11	1010 中) 桑園地区	812
12	1016 中) 円山地区、桑園地区	808
13	4012 白) 栄通、南郷通、本通南	671
14	3002 東) 鉄東地区、苗穂地区	659
15	3001 東) 鉄東地区、北光地区	648

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「経済センサスー活動調査」

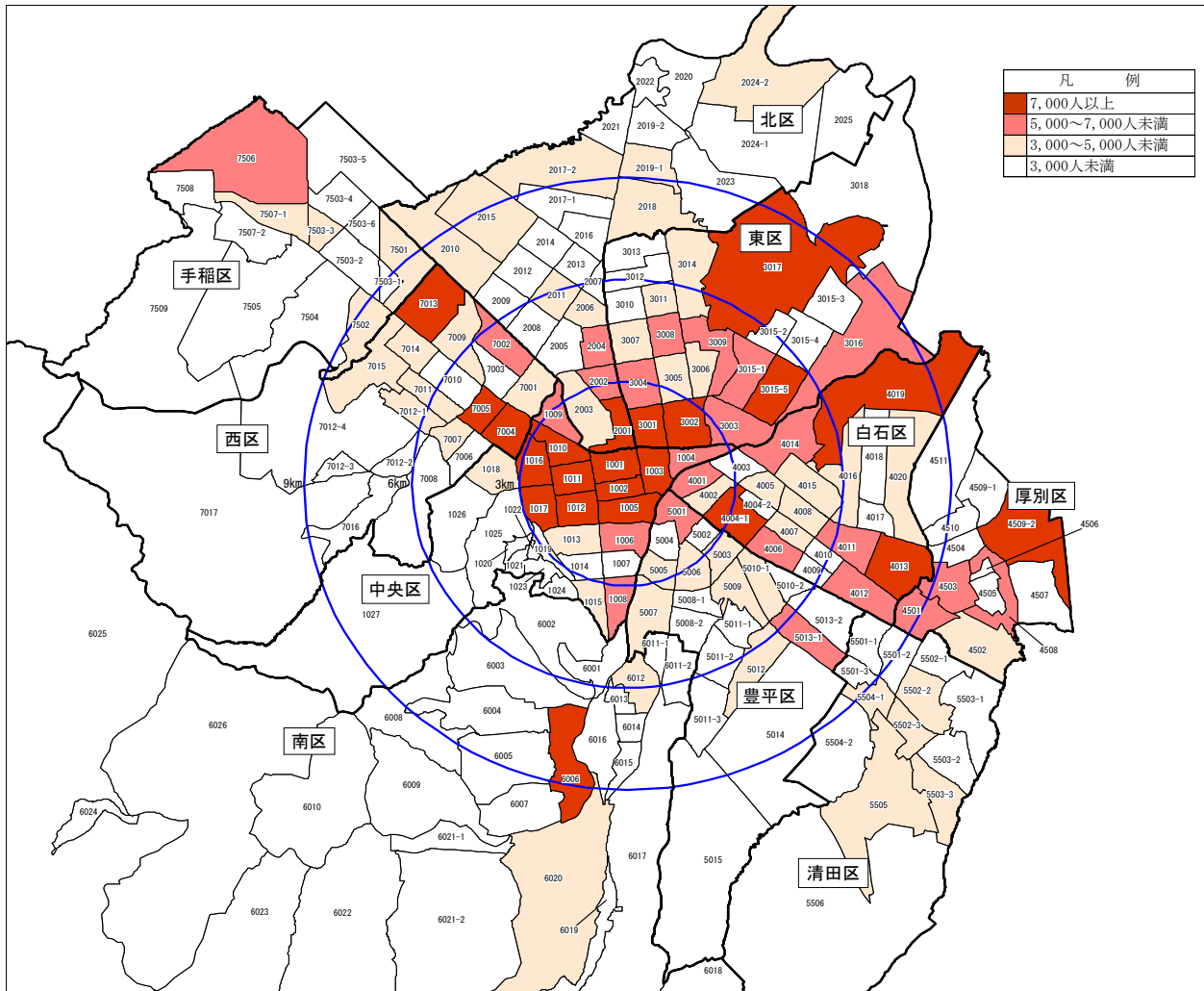
第4-2表 従業者数の多い統計区

令和3年6月1日現在

順位	統計区番号及び主な地区・町名	従業者数
1	1001 中) 中央地区	117,038
2	1002 中) 本府地区	51,579
3	2001 北) 鉄西地区、幌北地区	42,224
4	1003 中) 東北地区、東地区	25,444
5	1005 中) 豊水地区、西創成地区	20,208
6	1011 中) 大通地区、桑園地区	18,905
7	1010 中) 桑園地区	12,845
8	4004-1 白) 東札幌、中央	12,714
9	1012 中) 大通地区、西地区	11,273
10	3001 東) 鉄東地区、北光地区	11,092
11	4013 白) 本通北、平和通、流通センター	10,650
12	1016 中) 円山地区、桑園地区	10,329
13	3017 東) 丘珠地区、北丘珠、丘珠町、モエレ沼公園	9,666
14	3015-5 東) 東苗穂、本町	9,114
15	4509-2 厚) 厚別東、厚別町下野幌、下野幌テクノパーク、厚別町小野幌	8,950

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「経済センサスー活動調査」

第4-2図 統計区別従業者数（令和3年6月1日現在）



注：事業所数が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。
 <資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「経済センサスー活動調査」

2 産業別事業所数

第2次産業割合は、工業団地が所在する統計区などで高い（第4-3表、第4-3図）

事業所数が20事業所以上の統計区について、事業所数の産業別の割合に注目する。

「建設業」や「製造業」などを含む第2次産業割合をみると、北区の2021統計区（西茨戸）が63.9%と最も高く、続いて、北区の2020統計区（篠路町篠路）が60.0%と、この2つの統計区では6割以上となっている。次いで、東区の3018統計区（中沼西、中沼、中沼町）が44.6%と続いている。

第4-3表 事業所数の第2次産業割合の高い統計区

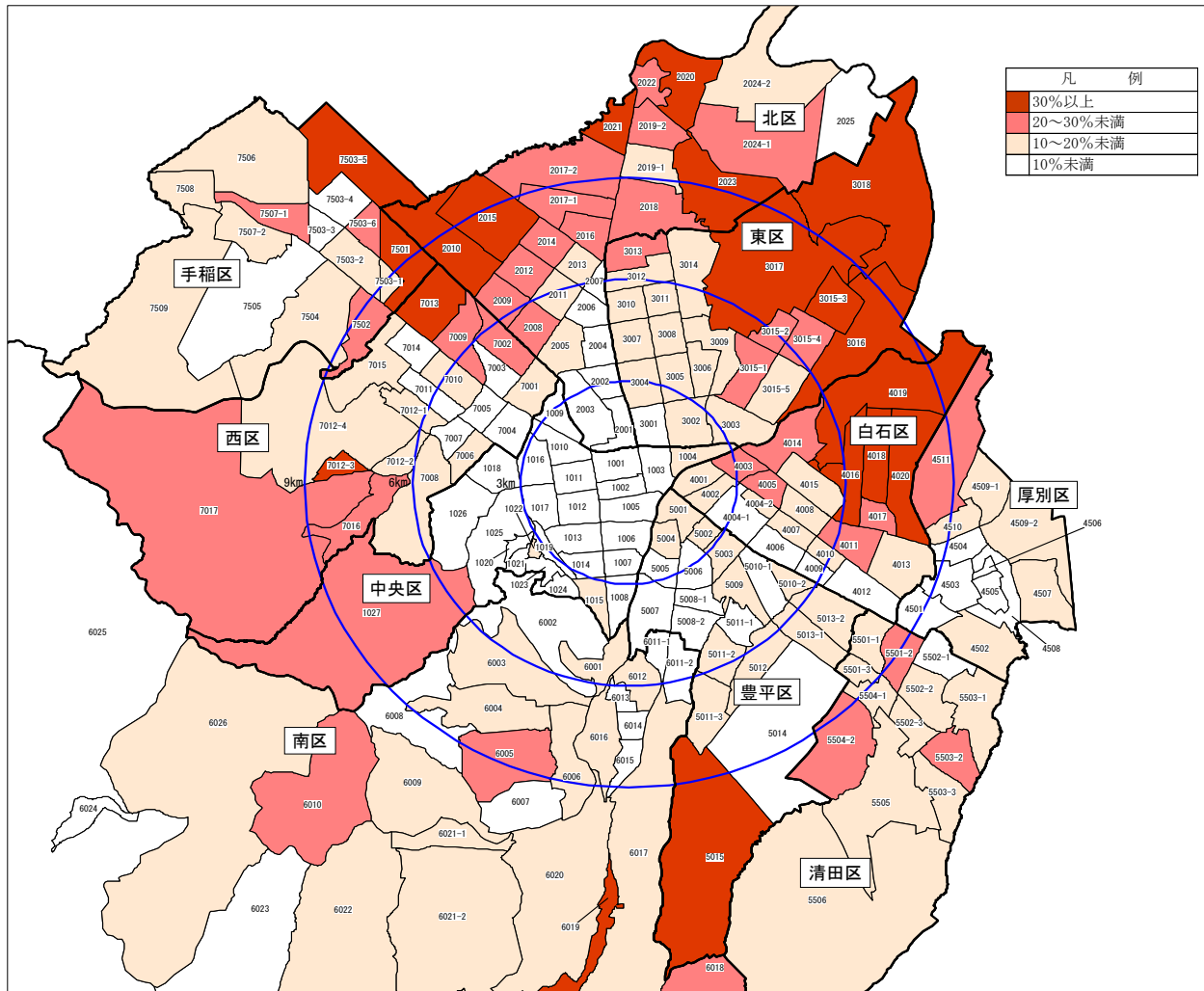
事業所数が20事業所未満の統計区を除く。

（単位 %） 令和3年6月1日現在

順位	統計区番号及び主な地区・町名	第2次産業割合
1	2021 北) 西茨戸	63.9
2	2020 北) 篠路町篠路	60.0
3	3018 東) 中沼西、中沼、中沼町	44.6
4	3015-3 東) 東苗穂、東雁来、東苗穂町	43.1
5	2023 北) 篠路、篠路町上篠路	42.1
6	4018 白) 川北	40.9
7	4016 白) 北郷	40.8
8	7013 西) 登寒	40.1
9	5015 豊) 西岡	39.3
10	7012-3 西) 西野	38.8
11	7503-5 手) 前田、手稲前田	37.1
12	2010 北) 新川、新川西	35.4
13	3017 東) 丘珠地区、北丘珠、丘珠町、モエレ沼公園	34.9
14	4020 白) 川下	34.6
15	3016 東) 東雁来、東雁来町	31.8

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「経済センサスー活動調査」

第4-3図 統計区別事業所数の第2次産業割合（令和3年6月1日現在）



注：事業所数が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「経済センサスー活動調査」

第2次産業割合は、「建設業」の割合が高い北区の2021統計区（西茨戸）や東区の3015-3統計区（東苗穂、東雁来、東苗穂町）のほか、工業団地が所在する西区の7013統計区（発寒）や東区の3017統計区（丘珠地区、北丘珠、丘珠町、モエレ沼公園）などで高くなっている。

第4-4表 事業所数の第3次産業割合の高い統計区

事業所数が20事業所未満の統計区を除く。

第3次産業割合は、都心部や地下鉄沿線などの統計区で高い（第4-4表、第4-4図）

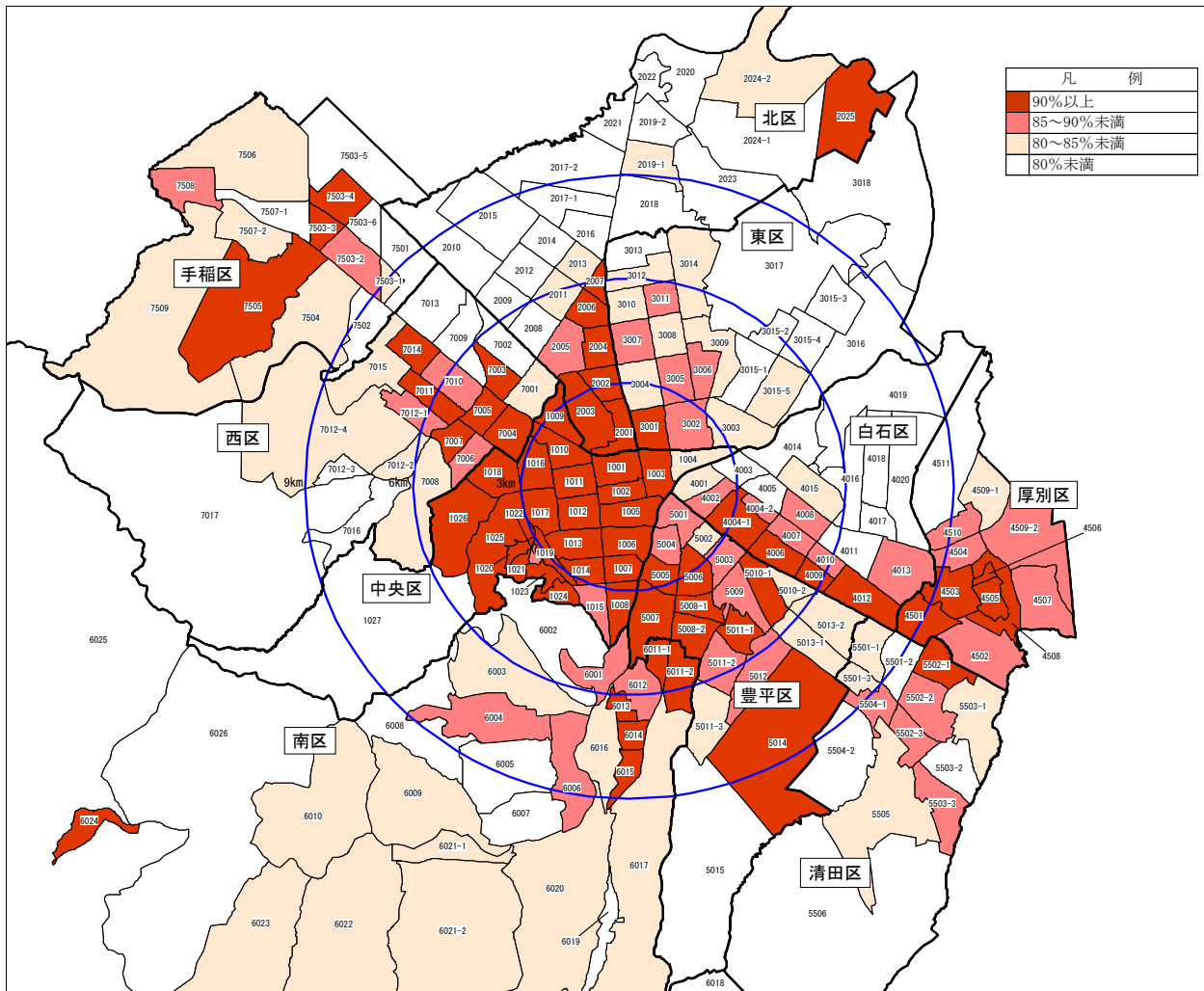
「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」及び「医療、福祉」などを含む第3次産業割合をみると、中央区の1005統計区（豊水地区、西創成地区）が97.8%で最も高く、以下、厚別区の4506統計区（厚別中央）が97.3%、中央区の1002統計区（本府地区）が97.2%などと続いている。

（単位 %） 令和3年6月1日現在

順位	統計区番号及び主な地区・町名	第3次産業割合
1	1005 中) 豊水地区、西創成地区	97.8
2	4506 厚) 厚別中央	97.3
3	1002 中) 本府地区	97.2
4	4505 厚) 青葉町	96.9
4	4508 厚) 青葉町、厚別中央、厚別南	96.9
4	7005 西) 琴似	96.9
7	6014 南) 真駒内上町・緑町	96.4
8	1001 中) 中央区	96.3
8	1019 中) 幌西地区、南円山地区	96.3
10	1023 中) 旭ヶ丘、伏見	96.2
11	1020 中) 双子山	96.0
12	1017 中) 南円山地区、円山地区	95.8
13	2004 北) 北地区	95.1
13	2007 北) 麻生町	95.1
15	2001 北) 鉄西地区、幌北地区	94.8

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「経済センサスー活動調査」

第4-4図 統計区別事業所数の第3次産業割合（令和3年6月1日現在）



注： 事業所数が皆無の6002、6007及び6008統計区を除く。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「経済センサスー活動調査」

第3次産業割合は、都心から3km未満の統計区の多くで9割を超えているほか、地下鉄沿線などの統計区で高くなっている。